

平成30年度 中部ブロック防犯ボランティアフォーラム 「大杉学区連絡協議会(北区)」 が活動発表を行いました。

平成30年6月23日(土)、名古屋市中村区のTKP名駅桜通口カンファレンスセンターにおいて、中部管区警察局主催「中部ブロック防犯ボランティアフォーラム」が開催されました。

防犯ボランティア活動の活性化を目的とするこのフォーラムでは、中部6県から選ばれた4団体による活動内容の発表が行われました。

愛知県からは、名古屋市中村区の「大杉学区連絡協議会」が発表団体に選ばれ、大杉学区の防犯活動について発表を行いました。

＜大杉学区連絡協議会による発表＞

テーマ：大杉学区の防犯活動

発表者：大杉学区連絡協議会会長 川村 和光 氏

発表概要：

- ・ 自転車の前かごに取り付ける防犯プレートを自主制作し、地域住民に広く配布し、愛スクールパトロール隊による児童の見守り活動時などに活用している。
- ・ 40台のランシーバー整備と小学校屋上への中継装置の設置により、学区内全域での広域通信が可能となり、パトロール時にリアルタイムで情報を共有しながら、迅速な状況把握に基づく効果的なパトロール活動を実施している。
- ・ 住民向け防犯教室や「安心・安全で快適なまちづくり大会」を開催し、防犯意識の高揚を図っている。



＜大杉学区連絡協議会の概要＞

19の町内会と、小・中学校やそれぞれのPTAを始めとした21の団体により構成され、大杉学区コミュニティセンターを拠点として、約80名の構成員らが防犯、防災、交通安全等の様々な活動を行っている。

平成15年に登下校の児童の見守り活動を重点とする「愛スクールパトロール隊」を結成。平成21年には、警察庁による地域の自主防犯活動を支援するモデル事業「地域安全安心ステーション推進事業の受託実施などを通じて、地域の防犯意識を一層向上させながら、「子どもは宝！子どもを守ろう」を合言葉に活動している。

